

平成27年 北海道森づくり研究成果発表会について

平成27年4月15日(水)に平成27年北海道森づくり研究成果発表会(森林整備部門)を札幌エルプラザ3Fホール(口頭発表)及び4F大研修室・中研修室(ポスター発表)において開催しました。

口頭発表では、北海道の総合振興局森林室から2件、北海道森林管理局1件と北海道森林管理局と総合振興局林務課共同発表が1件、林業試験場から4件、また、今年は新たな試みとして、林産試験場から「木質バイオマス発電のシミュレーター」と「道南スギの材質と強度性能」の2件の交流発表を実施するなど、計10課題について研究成果の発表を行いました。

また、ポスター発表では、北海道、林産試験場、林業試験場から17件のポスターや研究成果に関連する展示が行われました。

口頭発表者についてもポスター展示を行い、昼休みと午後に設定したコアタイム(個別説明時間)には、参加者との活発な意見交換が行われ関心の高さがうかがえました。

さらに、北海道水産林務部森林環境局森林活用課による写真展として「活躍する森林所有者」の紹介や林業普及指導員による日頃の普及指導活動を紹介する「第30回林業普及写真展」が同時に開催されました。

参加人数は396名で、そのうち161名が企業・団体等で前年度を大きく上回りました。またCPD団体会員(技術者教育支援制度)の受付は77名と年々増加しており、この発表会が、国・道等の行政機関のみならず、企業や林業関係団体から高い関心が寄せられているものと感じたところです。

今回の光珠内季報 No175 は、当日の発表から林業試験場、林産試験場関係分22件について要旨を掲載します。それぞれの研究成果についてご一読いただき、参考にいただければ幸いです。

当日の会場の様子

